

## 四日市版コミュニティスクール報告書（平成29年度総括）

四日市市立朝明中学校

校長 大立目 佳久

### 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

保護者及び地域住民が一定の責任を持って学校運営に参画し、学校教育活動の充実に向け、学校、保護者及び地域住民が協働し、「学校づくりビジョン」の実現を図ります。

取組としては、地域理解・地域貢献学習を主軸とし、地域住民との連携を積極的に図って推進し、地域に関わる学習と地域と連携した活動を展開していきます。活動を通して、生徒が地域に対する関心を高めたり見直したりするなどして、郷土を愛する心を育むとともに自己の生き方を考える力を一層育んでいきます。

#### (1) 活動内容

- ① 学校訪問、授業や行事の参観などにより、教育活動への参画と評価を行い学校を支援します。
- ② 地域の声を学校へ、教育活動の様子を地域へと情報の橋渡しをします。
- ③ 学校の教育活動を支援するゲストティーチャー等の必要な地域の人材や団体と学校の橋渡しをします。
- ④ 学校自己評価の結果や学校づくりビジョンに対する学校関係者評価をします。

### 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

#### (1) 教育活動の実践事例

##### ① 生徒の活動・学力及び生活実態を把握する

本年度、運営協議会を4回開催しました。会議の冒頭では、校長より学校の取組と生徒の様子を説明した後、各委員さんに、授業を参観していただきました。また、体育祭や文化祭、総合的な学習の学習発表会等の学校行事の参観を通して、学校の教育活動と生徒の様子を把握していただき、落ち着いた学習状況や学習環境に対する評価とともに改善に向けたご助言をしていただきました。

10月の第2回運営協議会では、全国学力学習状況調査の結果について、学力と学習状況の両面から概要と生徒の強みと弱みの分析内容を報告し、学校・家庭・地域における課題と改善に向けた方策について、意見交換を図りました。

##### ② 地域の教育力を生かした特色ある教育活動

総合的な学習の時間を軸にして、各学年、教科や他の領域との関連を図った地域学習を実施しました。コミュニティスクールの取組が3年目となり、どの学年も前年度の活動を継承しつつ、一部取組内容を見直し整理と充実に努めました。

1年生は、地域についての学習を進めながら地域理解を図る取組を実施しました。久留倍学習コースでは、大矢知地区の歴史上重要な遺跡である久留倍官衙遺跡について調べ学習や現地調査（遺跡と資料館）を通して学びました。また、学年発表会では

古代衣装を着て、「壬申の乱」の一場面を演じました。「八郷フェスタ」学習コースでは、スタッフとして企画を手伝うことで地域の町づくりに貢献しました。各クラスの室長に加え、希望者のボランティアを含めて92名の生徒が参加し、八郷地区に関わるクイズや休憩所等の自分たちで考えたブースを運営しました。地場産業学習コースでは、伊藤製麺所のご主人をゲスト



**【久留倍学習の学年発表】**

ティーチャーとして招いたり工場を見学させていただいたりして大矢知そうめんについて学び、伝統産業のあり方について考えました。防災学習コースでは、三重減災啓発支援ネットの方からの聴き取りや、校内の防災倉庫及び県の広域防災拠点の見学を通して、地域の防災対策等について理解を深めました。各学習活動の中では、ゲストティーチャーとして地域の多くの方にご指導いただきました。また、今年度は、クラスごとにテーマ選択させたため、調べ学習をより充実させたり、テーマ別に体験学習の日程を設定したりして、より効果的に学習を進めることができました。



**【八郷フェスタ in 伊坂】**



**【地場産業学習】**



**【防災学習】**

2年生は、従来から実施していた職場体験学習を地域学習の一環として位置づけ、地域の事業所を中心にお世話になりました。生徒にとっては、地域で働く方々との出会いを通して、地域を見つめ直す機会となりました。また、今年度は、生徒自身に事前訪問をさせたことで、より目的意識を持って体験することができました。



**【職場体験；福助製菓】**

3年生は、地域貢献という観点から、大矢知・八郷の両地区で地区の自治会や社会福祉協議会の方々と協働して清掃活動に取り組んだほか、三重減災啓発支援ネットの方々をゲストティーチャーとしてお招きし、地元の高齢者の方々とともにHUG（避難所運営ゲーム）に取り組みました。高齢者の方々との交流を深めるとともに、避難所の立ち上げ、運営をシュミレーションすることで、災害発生時に地域を守る体験をしました。



**【山城道路清掃活動】**



**【北勢バイパス高架下清掃活動】**



**【福寿会の方とのHUG】**

### ③ 学校行事での老人会種目の企画

今年度は、体育祭に老人会種目を組み込み、各クラスの生徒の代表が約40名の地域の老人会の方々とともに、玉入れを楽しみ、交流を深めました。

### ④ 学習発表会

2月13日に、各学年の生徒が1年間の総合的な学習の時間に取り組んだ内容の学習発表会を行いました。1年生は、地域理解学習として、各クラスが調べたり体験したりした内容と、人権学習で取り組んだアサーショントレーニングについて代表が発表しました。2年生は、11月の職場体験学習の体験について、スライド画像と3人の代表生徒が作文で発表しました。3年生は、地域貢献学習として取り組んだHUGと地域清掃活動について、また部落問題学習を中心とした人権学習で学んだ内容をそれぞれ代表生徒が作文で発表しました。発表会には、コミュニティスクール運営協議会の委員の方々にも参観していただき評価していただきました。

## (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

コミュニティスクールの指定が3年目となり、生徒が地域に出て活動したり、地域行事に参加したりする機会が増えるとともに、ゲストティーチャー等で学校の教育活動に携わっていただいたり、行事等に足を運んでいただいたりした保護者や地域の方も年々増えています。どの学年も各活動後には、様々な場面で地域の多くの方から高い評価の言葉をいただきました。また、11月に開催された「八郷フェスタ in 伊坂」には、生徒とともに、八郷・大矢知両地区のPTA役員の方々にも参加していただくなど、PTA活動との連携も進みました。

2学期末に取った学校教育診断の集計結果では、【特色ある教育課程の編成】の「総合的な学習の時間や行事等は特色ある教育活動を行っている（生徒：興味や関心を持って取り組める）」の設問で、生徒が3.4ポイント、保護者が3.1ポイントと昨年度に引き続き高い評価を得ました。また【充実した学校生活】、【保護者や地域の人たちとの連携】の項目でも、生徒・保護者ともに高い評価を得ました。さらに、4月に実施された全国学力学習状況調査の「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」の設問について、肯定回答率が63.7%（全国49.7%）、「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の設問については、肯定回答率が81.4%（全国64.3%）と、ともに全国を大きく上回る結果となりました。これらの結果は、総合的な学習の時間を中心に、地域に関わる学習活動を充実させた成果であるととらえています。

第4回運営協議会で実施した学校関係者評価では、「学校の施設は充実しているか」を除くすべての設問について、運営協議会委員の平均が4段階の評価において3.0ポイント以上、平均3.4ポイントと、教育活動全般について高い評価を受けました。中でも、「生徒は部活動を熱心に行っているか」及び行事において「生徒はマナーよく参加しているか」が3.8ポイント、「生徒は落ち着いて授業を受けているか」と行事において「生徒が主体的に動いているか」が3.7ポイントと、学校が落ち着いた状態で子どもたちが主体的に活動していることに高い評価を受けました。また「生徒は

地域行事に参加しているか」について、3.4ポイントと昨年度に引き続き高い評価を得ていることは、コミュニティスクールの取組が3年目となり、地域に関わる学習活動が定着してきたことの成果であるととらえています。

### 3 今後に向けて

#### (1) 生徒の現状から見える課題

授業や行事の参観を通して、運営協議会の委員さん方から、「子どもたちは学習によく参加していて本当によく落ち着いて整然としている」、「校舎が古くても自分たちでよくしようという気持ちが表れている」、「教室で男女が寄せ合って自然に座っているのが感心する」、「文化祭の合唱では、聴く姿勢に感心した」、「地域行事の時に決められてこと以外でも頼むとすぐに動いてくれた」といったお褒めの言葉をいただきました。課題としては、「人前で話したり発表したりすることを恥ずかしがる傾向がある」、「スマホ・家庭学習の時間、読書時間の少なさについては、小学校と連携して取り組み必要がある」といったことがあげられました。教職員内でも、子どもたちの困難さに立ち向かう力が年々弱まっていることを課題として共有しています。来年度以降も、挨拶を始めとした他者とのコミュニケーション能力を身につけさせることをねらいとした取組が必要であると考えます。

#### (2) 教員の参画と運営協議会の組織について

運営協議会が組織されて3年目となり、今年度より、教務主任を加えたことにもあり、昨年度までよりコミュニティスクールの取組が教員の中に定着し、教員の参画意識も徐々に高まり、主体的に地域関係者と連携し、計画・実施できるようになってきました。今後の課題としては、学習・図書・交通安全指導等の各分野における組織づくりがあげられます。

#### (3) 地域とともにある学校づくりの推進

全国学力学習状況調査では「今住んでいる地域の行事に参加しているか」の設問について、肯定回答率が51.4%（昨年度比+1.6%）と全国の42.1%を大きく上回るとともに年々向上しています。この数値の変化は、コミュニティスクール取組がより定着し、子どもたちの地域への関心や郷土愛が高まった成果であるととらえています。

次年度以降も、子どもたちが地域に出て貢献できる機会をより充実させるとともに、運営協議会を中心に、学校と地域の双方向の取組をより推進し、地域とともにある学校づくりを進めるとともに、子どもたちに生きる力を育てていきたいと考えます。

## 平成29年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立朝明中学校

委員長 毛利 良一

校長 大立目 佳久

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営委員会 (25日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育委員会より委嘱状交付</li> <li>・運営協議会組織の確立</li> <li>・学校づくりビジョンの承認</li> <li>・年間計画と活動方針の検討</li> <li>・授業の参観</li> </ul>
6		
7		
8		
9	体育祭参観 (13日)	
10	第2回運営協議会 (28日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力学習状況調査の結果報告</li> <li>・CS教育活動の取組計画 (地域学習) の説明</li> <li>・授業の参観</li> </ul>
11	文化祭参観 (2日) 第3回運営協議会 (18日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CS教育活動の取組経過 (地域学習) の報告</li> <li>・授業の参観</li> </ul>
12		
1		
2	学習発表会参観 (13日) 第4回運営協議会 (16日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習発表会の参観</li> <li>・今年度の活動報告</li> <li>・次年度の活動計画 (学校づくりビジョン(案)) について</li> <li>・学校教育診断集計結果・学校関係者評価</li> <li>・平成30年度運営協議会組織について</li> </ul>
3	卒業式参列 (8日)	